

メディア・大学・町の共催による 防災ガイドマップづくり

取組分類

参加体験

行動特性

デジタル

自治体

北海道二セコ町

問合せ先：北海道二セコ町 総務課防災係

取組概要

- **小学生、大学生、地域住民を主体とした防災ガイドマップづくりを、地元メディア、大学、町の共催により実施**している。
- フィールドワークを通して、**地域の危険箇所のみならず、魅力も含めてマップ化**している。

取組のきっかけ

- 多くの観光客が訪れる二セコ町は尻別川が流れ、豪雨の際には浸水するおそれがあるほか、主要道路沿いには土砂災害警戒区域がある。
- 大学講師より、「子供たちによるガイドマップづくり」の勧めがあったことをきっかけに、取組がスタートした。

取組のポイント

- 大学講師から町への勧めをきっかけに、放送局、大学、町の三者共同により令和2年にプロジェクトをスタートし、マップづくりに向けた取組を開始した。

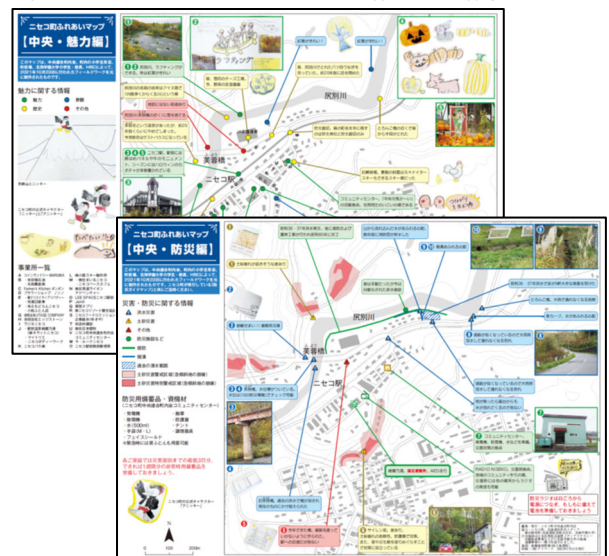
<取組の進め方>

- マップづくりに先立ち、プロジェクト関係者と地区の方々との顔合わせを行った。その際には、現地の視察や、町による防災講習などを行った。
- マップづくり当日は、**町職員、地域住民、大学生、小学生**など計30名以上が参加。フィールドワーク、ガイドマップ作成の2部構成で進められた。
- フィールドワークでは、**災害リスクのみならず、魅力も掘り起こし**。その後、防災編と魅力編の2つのガイドマップを作成した。若い世代も参画することで、**防災を次世代へ伝えること**にも寄与。
- 作成したガイドマップは、地域の全世帯へ配布。

▼マップづくり当日の様子（机上、現地）



▼作成した防災ガイドマップ（防災編・魅力編）



取組の効果

- 災害発生時に住民がマップを見ることで、避難経路や避難場所、避難所の確認が容易となった。
- マップに過去の災害発生箇所や内容が記載されており、災害時に危険を回避することができる。